

参考資料

- ①市内の主な文化財（指定文化財除く）…………… 229-232
- ②狭山池フォーラム…………… 233
- ③狭山池シンポジウム…………… 233
- ④歴史文化セミナー簡修館の開催…………… 234
- ⑤大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館の展示…………… 235-236
- ⑥大阪狭山市立郷土資料館展示記念講演会…………… 237

①市内の主な文化財（指定文化財を除く）

	品名	分野	時期	所蔵	地区	備考
1	東野廃寺塔心礎	考古資料	飛鳥時代	蓮光寺	東野地区	蓮光寺に残る礎石。現在は手水石に利用。心柱孔直径50cm、深さ13cm、孔の上部に深さ3cm、幅4cmの排出溝をつける。
2	地藏菩薩立像	美術工芸	平安～鎌倉時代	蓮光寺	東野地区	
3	薬師如来坐像	美術工芸	江戸時代	蓮光寺	東野地区	
4	阿弥陀三尊坐像	美術工芸	江戸時代	蓮光寺	東野地区	脇侍が立膝で坐しているのが特徴的。
5	木造地藏菩薩立像	美術工芸	中世～江戸時代	西迎寺	東野地区	彩色の残る地藏菩薩像。もとは西迎寺の近くにあった西庵（廃寺）の本尊であったと伝える。現在は、西迎寺の地藏堂に安置。年1度の地藏盆のときに開帳される。
6	大峰山上講関係資料	民俗資料	江戸時代	個人	東池尻地区	「池東組」関係の山上講関係道具、旗・腹当、札11枚。東池尻鳥毛講の講元であった小谷家に伝来。
7	田中家文書	歴史資料	江戸時代	個人 狭山池博物館 寄託	西池尻地区	狭山池の管理責任者である池守を務めた家に残された古文書群。池守関係の古文書と、池尻村庄屋・狭山藩士関係の古文書、近代の戸長文書などを含む。
8	狛犬・隨身	美術工芸	江戸時代	狭間神社	西池尻地区	狛犬は2対、隨身は1対。一方の狛犬の材はケヤキか。隨身の材は不明。
9	T家住宅	建造物	明治		西池尻地区	狭山池の管理責任者である池守を務めた家の住宅。明治以降の改修が認められる。
10	南海電車暗渠 (7件)	建造物	明治	南海電気鉄道 株式会社	西池尻地区	池尻地区に残るレンガ巻きの隧道。地元では暗渠と呼ばれている。

11	ヤマモモ	天然記念物		個人	西池尻地区	高さ12.1m、幹回り2.6mの巨木
12	U家住宅	建造物	昭和初期		池尻中地区	昭和初期の建築か。あめりか屋の設計で、新築当初の写真やパース案、庭園設計図などの図面が残る。
13	山本地区の亥の子	民俗行事			山本地区	11月の末ごろ、子どもがイノコ槌という藁製の棒を持って、村の家々を回り、歌いながら地面にたたきつける行事。
14	中林家文書	歴史資料	江戸時代	個人	池之原地区	岩室（池之原）村の庄屋文書。「宗門人別帳」「検地帳」などが、各時代を通じて残る。
15	N家住宅	建造物	江戸時代		池之原地区	江戸時代の建築。近世を通じて岩室村の幕領方の庄屋役を務めた家。家伝によると築300年以上と伝わる。
16	T家屏風	美術工芸	江戸時代	個人	池之原地区	画題不明。雲形が黒くなっている。六曲一隻。
17	クロガネモチ	天然記念物		個人	池之原地区	高さ6.1m、幹回り2.2mの巨木
18	壺井家文書	歴史資料	江戸時代	個人 市教育委員会 寄託	狭山地区 (狭山新宿)	文化年間（1804～1818）に狭山新宿に移り住んだ壺井純庵を初代とする家に伝わる古文書。内容は、主に狭山藩や狭山池・池内新開に関するものと家に関するものに分けられる。
19	木造薬師如来三尊像	美術工芸	室町時代 ・ 江戸時代	風輪寺	半田地区	狭山神社神宮寺であった安楽寺（廃寺）の本尊。現在は、風輪寺に安置されている。木造薬師如来坐像は室町時代の制作で、日光・月光菩薩は江戸時代。
20	釈迦十六善神像	美術工芸	室町時代	風輪寺	半田地区	絹本着色。裏書から文政9年（1826）に修補が行われていることがわかる。
21	狭山神社本殿	建造物	室町～ 江戸時代	狭山神社	半田地区	式内社で狭山郷の鎮守社として古くから崇敬されてきた。一間社春日造で、正面中央部に軒唐破風が設けられている。

22	吊り燈籠	美術工芸	室町時代	狭山神社	半田地区	他の類似する吊燈籠の形式や足の形から、室町時代と推測される。鉄造。
23	狭山神社山崎社司日記	歴史資料	明治	狭山神社	半田地区	狭山神社の社司が記した明治31年(1898)～大正11年(1922)の日誌(欠年あり)。開通当初の高野鉄道の記録もみえる。
24	M家住宅	建造物	明治初期		半田地区	明治初期の建築。半田村村長を務めた家。昭和30年代ごろ、平成2年に改修を受けている。
25	ヤマモモ	天然記念物		個人	半田地区	高さ13.3m、幹回り2.1mの巨木
26	里程道標(十一里)	石造物	江戸時代		岩室地区	塚から高野山女人堂までの里程道標。13里分ある内の十里と十一里が市内に存在する。この里程道標は、茶萐木村の住人が発起人となって建てられている。安政4年(1857)の年号をもつ。
27	狭山池旧取水塔	建造物	大正～昭和	狭山池博物館	岩室地区	大正から昭和にかけての狭山池改修時に建築。
28	狭山池木製枠工	考古資料	江戸時代	大阪府・大阪狭山市	岩室地区	狭山池中樋出土の大規模護岸施設の遺構。
29	狭山池惣絵図	歴史資料	江戸時代	狭山池土地改良区		狭山池とその周辺について描かれた絵図。
30	シルビアシジミ	天然記念物			岩室地区	
31	牛滝地蔵一石五輪塔	石造物	室町時代		今熊地区	永正10年(1513)の年号を持つ石造物。
32	三都神社板碑(6基)	石造物	江戸時代	三都神社	今熊地区	不食供養塔(正保5年[1648])・逆修供養塔(寛永4年[1627])・名号塔などを含む6基の板碑。

33	木造毘沙門天立像	美術工芸	江戸時代	三都神社	今熊地区	三都神社に毘沙門天信仰があったことは、石造の水船に「三所権現、毘沙門天」などの銘文からわかる。
34	弁財天坐像	美術工芸	江戸時代	三都神社	今熊地区	頭に蛇身人頭の宇賀神が乗る。
35	0家住宅	建造物	江戸時代末～明治		今熊地区	江戸時代末期ないしは、明治初期の建築。今熊村庄屋・三都村村長を勤めた家。建物指図が残る。
36	里程道標（十里）	石造物	江戸時代		茱萸木地区	堺から高野山女人堂までの里程道標。13里分ある内の十里と十一里が市内に存在する。この里程道標は、茱萸木村の住人が発起人となって建てられている。安政4年（1857）の年号をもつ。
37	茱萸木八幡宮板絵（8枚）	民俗資料	江戸時代	茱萸木八幡宮	茱萸木地区	茱萸木八幡宮に伝来した板絵。現在は地区公民館に収蔵。天照・八幡・稲荷ほかの絵を描く。
38	N家住宅	建造物	昭和		茱萸木地区	昭和12年（1937）竣工の住宅。医者であった先代が、ドイツ留学をした関係で、洋室を作っている。内部を一部改装している。
39	ヒメボタル	天然記念物			茱萸木地区	
40	H家住宅	建造物	江戸時代末ごろ		大野地区	江戸時代末期の建築。安政5年（1858）の家相図が残る。改修を受けているものの、家相図の状態を保つ箇所が残る。

②狭山池フォーラム

第1回	平成6年12月3日	タイトル： 狭山池築造の謎に迫る。 講師： 京都橘女子大学教授 門脇禎二 徳島文理大学教授 石野博信 徳島文理大学教授 日下雅義 奈良国立文化財研究所飛鳥資料館学芸室長 工楽普通
第2回	平成7年11月25日	タイトル： 狭山池の築造と古代の大開発 講師： 徳島文理大学教授 石野博信 大阪府教育委員会文化財保護課調査第一係長 広瀬和雄 京都大学教授 金田章裕 京都橘女子大学学長 門脇禎二
第3回	平成8年10月12日	タイトル： 日本最大の狭山池と天平の僧 行基 講師： 奈良大学学長 水野正好 帝塚山学院大学教授 中尾芳治 国際日本文化研究センター教授 千田稔 大阪府立大学教授 柴原永遠男
第4回	平成9年11月22日	タイトル： 末永雅雄の古墳研究 ―石舞台から藤ノ木まで― 講師： 徳島文理大学教授 石野博信 明治大学名誉教授 大塚初重 京都橘女子大学学長 門脇禎二

(肩書は開催時のもの)

③狭山池シンポジウム

2010	平成22年10月16日	タイトル： 狭山池の誕生をさぐる 講師： 大阪市立大学名誉教授 柴原永遠男 金堤市碧骨堤農耕文化博物館学芸研究士 鄭允淑 滋賀県立大学教授 田中俊明 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館学芸員 小山田宏一 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館館長 工楽普通
2011	平成23年10月15日	タイトル： 東アジアの水利灌漑と狭山池 コーディネーター： 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館館長 工楽普通 パネリスト： 京都大学名誉教授 金田章裕 学習院大学教授 鶴間和幸 啓明大学校人文大学教授 盧重國
2012	平成24年12月1日	タイトル： ため池築造と偉人 コーディネーター： 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館館長 工楽普通 パネリスト： 九州大学大学院教授 服部英雄 学習院大学教授 村松弘一 圓光大学教授 羅鐘宇
2013	平成25年11月30日	タイトル： 碧骨堤の謎を探る コーディネーター： 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館館長 工楽普通 パネリスト： 財団法人全北文化財研究院理事長 崔完奎 京都大学大学院教授 吉井秀夫
2014	平成26年11月8日	タイトル： アジアと日本をつないだ僧 ―重源・栄西― コーディネーター： 関西大学教授 原田正俊 パネリスト： 京都府立大学准教授 横内裕人 京都大学准教授 富島義幸
2015	平成27年11月14日	タイトル： 狭山池を未来に伝える コーディネーター： 大阪府立大学大学院教授 上浦木昭春 パネリスト： 文化庁記念物課史跡部門文化財調査官 山下信一郎 東北芸術工科大学文化財保存修復センター長 澤田正昭 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館館長 工楽普通
2016	平成28年11月26日	タイトル： 城郭から考える近世社会と技術 ―狭山池が生み出した新たな一面― コーディネーター： 関西大学名誉教授 藪田貫 パネリスト： 奈良大学教授 千田嘉博 高槻市立今城塚古代歴史館・しろあと歴史館特別館長 森田克行
2017	平成29年12月3日	タイトル： 狭山に行基がもたらしたもの コーディネーター： 大阪市立大学名誉教授 柴原永遠男 パネリスト： 大阪市立大学准教授 磐下徹 堺市文化財課 近藤康司
2018	平成30年11月17日	タイトル： 史跡 狭山池とともに コーディネーター： 京都府公立大学法人理事長 金田章裕 パネリスト： 福岡県文化振興課 正田実知彦 白河市建設部 鈴木功 同志社大学教授 佐伯順子 大阪府教育庁文化財保護課 中西裕見子

(肩書は開催時のもの)

④歴史文化セミナー簡修館の開催

日付		タイトル	講演者
平成21年度	第1回	8月8日(土)	写経生 中臣村山連首麻呂と狭山 大阪市立大学大学院教授 柴原 永遠男
	第2回	8月15日(土)	狭山の夏の民俗 本市教育委員会 平野 淳
	第3回	8月22日(土)	南河内の中世城郭と池尻城 本市教育委員会 藤田 徹也
	第4回	8月29日(土)	狭山を通る歴史街道 本市教育委員会 吉井 克信
平成22年度	第1回	7月10日(土)	狭山藩にまつわる人々 —『大阪狭山市史 史料編 近世』の魅力— 関西大学教授 藪田 貴
	第2回	7月17日(土)	市内の地藏盆と地藏信仰 本市教育委員会 平野 淳
	第3回	7月24日(土)	石造物と伝承でたどる天野街道の歴史 本市教育委員会 吉井 克信
	第4回	7月31日(土)	狭山村と三都村の合併 —昭和初期の狭山— 本市教育委員会 伊崎 文彦
平成23年度	第1回	7月 2日(土)	狭山に運ばれた石棺 —市指定文化財『狭山池中樋放水部の石棺群』— 葛城市歴史博物館館長 千賀 久
	第2回	7月16日(土)	狭山と須恵器 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館学芸員 植田 隆司
	第3回	7月23日(土)	世界遺産を目指す百舌鳥・古市古墳群 堺市文化観光局世界文化遺産推進室 白神 典之
平成24年度	第1回	8月25日(土)	近世狭山の地域文化と藩校 大阪府立大学名誉教授 山中 浩之
	第2回	9月 1日(土)	狭山藩の廃藩とその後の土族 本市教育委員会 伊崎 文彦
	第3回	9月 8日(土)	律令時代の河内 本市教育委員会 藤井 貴之
平成25年度	第1回	8月24日(土)	狭山藩北条氏を寺と墓から探る 本市教育委員会 吉井 克信
	第2回	8月31日(土)	狭山藩陣屋を絵図から読み解く 大阪人間科学大学教授 植松 清志
	第3回	9月 7日(土)	明治末期の神社合祀と狭山 本市教育委員会 伊崎 文彦
平成26年度	第1回	8月23日(土)	大野惣絵図と狭山池惣絵図を読み解く 京都府立大学准教授 上杉 和央
	第2回	8月30日(土)	『岩室村年代記』にみえる江戸時代の狭山 大阪府立三国丘高等学校首席 中山 潔
	第3回	9月 6日(土)	「高野鉄道の開通と狭山」 本市教育委員会 伊崎 文彦
平成27年度	第1回	8月29日(土)	大阪・日本・世界の史跡 —史跡とは何か— 大阪府教育委員会文化財保護課副主査 中西 裕見子
	第2回	9月 5日(土)	史跡土塔からみた行基と知識集団 堺市文化観光局文化部文化財課主査 近藤 康司
	第3回	9月12日(土)	大阪狭山市の縄文・弥生時代 ～西野コレクションの採集石器から考える～ 香芝市二上山博物館学芸員 佐藤 良二
平成28年度	第1回	8月27日(土)	戦国期・近世以降の狭山と行基 本市教育委員会 吉井 克信
	第2回	9月 3日(土)	行基と平安仏教 高野山大学文学部密教学科助教 櫻木 潤
	第3回	9月17日(土)	鎌倉時代の南都仏教と行基 高野山大学文学部人間学科助教 坂口 太郎
平成29年度	第1回	9月 2日(土)	末永雅雄先生と大阪狭山の歴史 —常歩無限の一生— 奈良県立橿原考古学研究所特別指導研究員 泉森 皎
	第2回	9月10日(土)	井上先生の行基・狭山藩研究 大阪府立狭山池博物館副館長 吉井 克信
	第3回	9月17日(土)	上田宏範先生 前方後円墳の研究、そして狭山の地名研究 本市教育委員会 橋上 猛雄
平成30年度	第1回	8月26日(土)	北條氏朝の文事 龍谷大学名誉教授 日下 幸男
	第2回	9月 1日(土)	狭山藩と南河内の在村学芸結社 大阪府立大学名誉教授 山中 浩之
	第3回	9月 8日(土)	狭山藩の駿府加番と見聞録『日ごとの富士』 本市教育委員会 山脇 大輝

(平成21-23年度「大阪狭山市歴史講座」含む(肩書は開催時のもの))

⑤大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館の展示

番号	展示名	開催期間	主催
1	狭山の民俗 四季のくらし	昭和58年(1983)1月5日 ～3月31日	町立郷土資料館
2	狭山の拓本—街道・信仰・池—	昭和58年(1983)10月15日 ～昭和59年(1984)3月31日	
3	写真で見る狭山の移り変わり	昭和59年(1984)10月16日 ～昭和60年(1985)3月31日	
4	河内鑄物師と狭山郷	昭和60年(1985)10月16日 ～3月31日	
5	池尻城と南北朝の動乱	昭和61年(1986)10月16日 ～昭和62年(1987)3月31日	
6	大阪狭山市へのあゆみ	昭和62年(1987)10月1日 ～12月28日	市立郷土資料館
7	市制一周年記念特別展 池の文化 狭山池の歴史と人々のくらし	昭和63年(1988)10月1日 ～平成元年(1989)3月24日	
8	考古学少年 小・中学生のための考古学入門	平成元年(1989)6月23日 ～9月22日	
9	戦時下のくらし—今、あの時の人々のくらしがよみがえる—	平成2年(1990)11月2日 ～12月15日	
10	末永雅雄先生 常歩無限の一生	平成3年(1991)10月12日 ～11月24日	
11	狭山の地名展 —地名がかたる狭山の歴史と文化—	平成4年(1992)10月17日 ～平成5年(1993)3月21日	
12	行基と狭山池	平成5年(1993)10月16日 ～12月12日	
13	狭山池と重源上人	平成6年(1994)10月1日 ～11月13日	
14	考古学入門 狭山と須恵器	平成7年(1995)10月15日 ～11月23日	
15	狭山と北条氏—秀吉から明治維新まで—	平成8年(1996)10月5日 ～11月10日	
16	夏・茶の湯の道具—榎南繁子コレクションから—	平成9年(1997)7月5日 ～7月19日	
17	末永雅雄先生 生誕百年記念 古墳研究の歩み	平成9年(1997)10月10日 ～11月24日	
18	皐月・初風炉の茶道具—榎南繁子コレクションから—	平成10年(1998)5月9日 ～6月7日	
19	近世の絵図—狭山池の世界—	平成10年(1998)10月3日 ～11月15日	
20	高野街道と狭山	平成11年(1999)10月2日 ～11月14日	
21	秋・茶道具に親しむ—榎南繁子コレクションから—	平成12年(2000)10月21日 ～11月23日	
22	開館記念特別公開 池守田中家文書—近世狭山池の歴史群像—	平成13年(2001)3月28日 ～5月27日	
23	狭山と機内の陣屋を掘る	平成13年(2001)9月22日 ～11月4日	市立郷土資料館

番号	展示名	開催期間	主催
24	平成14年度特別展重源狭山池改修800年記念 重源とその時代の開発	平成14年(2002)10月1日 ～12月1日	府立狭山池博物館
25	狭山を変えた鉄道—おおさかさやま交通ものがたり—	平成14年(2002)10月5日 ～11月24日	市立郷土資料館
26	平成15年度特別展 行基の構築と救済	平成15年(2003)10月1日 ～11月30日	府立狭山池博物館
27	融通念仏の道—中高野街道と狭山—	平成15年(2003)10月18日 ～11月24日	市立郷土資料館
28	平成16年度特別展 近世を拓いた土木技術	平成16年(2004)10月2日 ～11月28日	府立狭山池博物館
29	狭山池築造と須恵器窯	平成16年(2004)10月2日 ～11月28日	市立郷土資料館
30	平成17年度特別展 近代滔々—琵琶湖・淀川・狭山池—	平成17年(2005)10月8日 ～11月27日	府立狭山池博物館
31	平成18年度特別展 水にうつる願い	平成18年(2006)10月7日 ～11月26日	
32	平成19年度特別展 国土を拓いた金物たち	平成19年(2007)10月6日 ～11月25日	
33	大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館共同運営記念展 狭山池復活—慶長の改修にみる先端技術—	平成21年(2009)9月26日 ～11月29日	
34	平成22年度秋季企画展 古代西除川沿いの集落景観	平成22年(2010)10月9日 ～12月5日	
35	平成23年度特別展 古代狭山池と台地開発のはじまり	平成23年(2011)10月8日 ～12月4日	
36	平成24年度特別展 中世狭山池の水下世界	平成24年(2012)10月6日 ～12月9日	
37	平成25年度特別展 近世狭山池の水利変革—番水と水利技術—	平成25年(2013)10月5日 ～12月8日	府立狭山池博物館 市立郷土資料館
38	重源狭山池改修碑重要文化財指定記念特別展 重源と東大寺—鎌倉時代の復興を支えた人びと—	平成26年(2014)11月1日 ～11月30日	
39	平成27年度特別展 近世狭山池絵図 —水下農民の狭山池改修史—	平成27年(2015)10月10日 ～12月6日	府立狭山池博物館
40	狭山池築造1400年・狭山藩陣屋誕生400年記念特別展 狭山藩北条氏—戦国大名小田原北条五代の末裔—	平成28年(2016)3月19日 ～4月16日	市立郷土資料館
41	平成28年度特別展 河内の開発と渡来人—部屋北遺跡の世界—	平成28年(2016)10月8日 ～12月4日	府立狭山池博物館
42	名誉市民没後25年記念企画展 末永雅雄先生—その生涯と郷土狭山—	平成28年(2016)12月17日 ～平成29年(2017)1月25日	市立郷土資料館
43	大阪狭山市市制施行30周年記念特別展 行基伝承—受け継がれた記憶—	平成29年(2017)9月30日 ～10月29日	市立郷土資料館
44	平成29年度特別展 蓮華の花咲く風景—仏教伝来期の河内と大和—	平成29年(2017)12月2日 ～平成30年(2018)1月28日	府立狭山池博物館
45	平成30年度特別展 王者のひつぎ—狭山池に運ばれた古墳石棺—	平成30年(2018)9月15日 ～11月25日	府立狭山池博物館
46	明治維新150年・高野線開通120年記念企画展 南海高野線120年のあゆみ—はじまりは大小路—狭山間—	平成30年(2018)12月8日 ～平成31年(2019)1月27日	市立郷土資料館

⑥大阪狭山市立郷土資料館展示記念会講演会

「狭山の拓本―街道・信仰・池―」記念講演会	昭和58年11月12日	拓本の話 帝塚山学院大学教授	上田宏範
	昭和58年12月10日	拓本展について 神戸女子大学教授	田中久夫
「写真で見る狭山の移りかわり」記念文化財講座	昭和59年11月10日	お亀石と狭山池 大阪大学名誉教授	井上薫
		狭山の都市史 大阪府立大学教授	山崎俊郎
	昭和59年11月24日	狭山の年中行事 神戸女子大学教授	田中久夫
		三都・狭山村の合併 元狭山町助役	林部光伸
「河内鑄物師と狭山郷」記念講演会	昭和60年11月24日	河内の鑄物師 人間国宝・鑄物職人	角谷一圭
「末永雅雄先生展 常歩無限の一生」記念講演会	平成3年10月13日	末永雅雄先生を偲んで 朝日新聞編集委員	高橋徹
「狭山の地名展―地名がかたる狭山の歴史と文化―」記念講演会	平成4年10月18日	奈良県立橿原考古学研究所調査研究部長	勝部明生
		地名が語る狭山の歴史と文化 元帝塚山学院大学教授	上田宏範
「行基と狭山池」記念講演会	平成5年11月6日	大阪府科学教育センター指導主事	豊田兼典
「行基による狭山池修理と狭山池院建立」記念講演会	平成5年11月6日	大阪大学名誉教授	井上薫
		東大寺再建と俊乘房重源上人 東大寺長老	筒井寛秀
「考古学入門 狭山と須恵器」記念講演会	平成7年10月29日	古墳と須恵器 奈良県立橿原考古学研究所附属博物館総括学芸員	千賀久
		狭山の須恵器(スライド解説) 本市教育委員会	植田隆司
		特別展によせて	北条尚
「狭山と北条氏―秀吉から明治維新まで―」記念講演会	平成8年10月20日	戦国大名北条氏の盛衰と狭山 神奈川県立歴史博物館学芸員	鳥居和郎
		末永雅雄先生 古墳研究の歩み 関西大学名誉教授	横田健一
「古墳研究の歩み」記念講演会	平成9年11月16日	池田市立歴史民俗資料館副館長	田中晋作
		狭山の古地図～その表現と人々の認識～ 京都大学教授	金田章裕
「近世の絵図―狭山池の世界―」記念講演会	平成10年10月17日	高野山と弘法大師 高野山奥の院維那・元高野山大学教授	日野西眞定
「高野街道と狭山」記念講演会	平成11年10月3日	狭山の陣屋と武士 関西大学文学部教授	藪田貴
「狭山と畿内の陣屋を掘る」記念講演会	平成13年9月22日	南海高野線沿線ものがたり 近畿大学商経学部教授	武知京三
「狭山を変えた鉄道―おおさかさま交通ものがたり―」記念講演会	平成14年10月13日	平野大念佛寺からの本尊御回在 奈良大学講師	浜田全真
「融通念仏の道―中高野街道と狭山―」記念講演会	平成15年10月18日	狭山池が造られた時代―古墳時代から飛鳥時代へ― 奈良大学文学部教授・大阪府立近つ飛鳥博物館館長	白石太一郎
「狭山池築造と須恵器窯」記念講演会	平成16年10月24日	末永雅雄先生と甲冑研究 元奈良県立美術館館長	宮崎隆旨
	平成28年3月19日	戦国大名北条氏の歴史と狭山 神奈川県立歴史博物館学芸員・小田原市文化財保護審議会委員	鳥居和郎
	平成28年3月26日	古文書からたどる狭山藩北条氏の成立 本市教育委員会	吉井克信
「狭山藩北条氏―戦国大名 小田原北条五代の末裔―」記念講演会	平成28年4月9日	人は城、人は石垣、人は堀―城郭研究者が語る石垣の魅力と末永先生の教え― 石川県金沢城調査研究所名誉所長	北垣聡一郎
	平成28年12月18日	行基信仰の美術 元大阪大谷大学教授	吉原忠雄
「行基伝承―受け継がれた記憶―」記念講演会	平成29年9月30日	行基の記憶―衆生救済をめざして― 高野山大学助教	櫻木潤
	平成29年10月14日	中世・近世の行基信仰の諸相 大阪府立狭山池博物館・大阪狭山市立郷土資料館副館長	吉井克信
	平成29年10月21日	鉄道構造物の土木遺産としての魅力―南海高野線を中心に― 公益財団法人鉄道総合技術研究所情報管理部担当部長	小野田滋
	平成30年12月8日	駅長のおしごと 南海電気鉄道株式会社 北野田駅長	
「南海高野線120年のあゆみ―はじまりは大小路―狭山間―」	平成31年1月19日		

(肩書は開催時のもの)

平成31年(2019)2月20日

大阪狭山市歴史文化基本構想

発行 大阪狭山市教育委員会

〒589-8501 大阪府大阪狭山市狭山一丁目2384番地の1

編集 大阪狭山市教育委員会事務局教育部歴史文化グループ

協力 株式会社 オオバ

